

(株)フェアリー・テイル、ワーク・ライフ・バランス推進企業「香川県知事賞」受賞を祝う会

7月1日 於／栗林公園 商工奨励館「讃岐迎賓館」



平井衆院議員



浜田知事



大西市長



竹内発起人代表



井原香太名誉教授



司会の中橋さん



藤田社長

ブライダル・プロデュース事業を展開する(株)フェアリー・テイル（高松市瓦町 2-2-8 藤田徳子社長）が、ワーク・ライフ・バランス推進企業として香川県知事賞を受賞したことを受け、7月1日に栗林公園 商工奨励館「讃岐迎賓館」にて祝賀会が開かれた。竹内麗子氏（香川経済同友会特別幹事）を代表に、9名の発起人が企画。同社がプロデュースする「讃岐迎賓館」を舞台に、約80名がお祝いに駆け付け、同社の功績を称えつつ、更なる飛躍に期待を込めた。

フェアリー・テイルの創業は1998年。当時はまだ珍しかったブライダル・プロデュースを生業とし、次第に基盤を固めつつ、栗林公園や玉藻公園などを舞台とした“ふるさとウエディング”という新スタイルも築き上げてきた。

また香川の逸品を集めたギフト事業“ふるさと讃岐おもてなし重”や、2015年からは商工奨励館（ガーデンカフェ栗林）の運営を受託することで、香川の魅力発信という観光分野でも輝かしい功績を残している。

そんな藤田社長が何より大切にしてきたのが、ワーク・ライフ・バランスの推進による、ヒトが輝く企業だ。このたびの受賞は、年次有給休暇の取得促進、仕事と育児の両立支援など、オリジナリティ溢れる働き方の改革にいち早く、積極的に取り組んできた結晶でもある。

祝宴の挨拶で、竹内発起人代表は、働き方改革に関する同社の取り組み及び藤田社長の姿勢を高く評価。女性が活躍できる環境整備に真摯に取り組んでいることにも触れ、「受賞を機に、今後も無意識の前例を打破し、独自の成長を見出すとともに、次世代育成の牽引役として更に活躍して欲しい」とエール。浜田知事、大西高松市長も職場環境の整備による、更なるワーク・ライフ・バランスの推進に期待を寄せた。

これを受けて藤田社長は「独自のやり方で、一つ一つ業務効率の改善に取り組んできた結果、一人当たりの年間残業時間は34時間程度となり、子育て世代や短時間労働を希望する若い女性でも働ける環境を整備したことが大きな要因」と述懐。さらに「7月1日は創業21年目のスタートの日でもあり、当社の多様な人材、多彩な才能を、日本のおもてなし文化として世界に通用する一流のサービスに磨き上げていきたい」と力強く抱負を語った。

なお平井卓也衆院議員の乾杯の発声に続き、祝宴がスタート。サポート役に徹した同社スタッフは、生き生きとした表情で随所でホスピタリティを発揮し、仕事と生活の調和を重視した職場環境がもたらした成果を印象づけた。



会場の讃岐迎賓館

